

水土里レポート

投稿月日	令和6年11月22日
タイトル	<small>おにしきた</small> 鬼石北小学校の4年生が施設見学に来てくれました！
水土里レポーター名	水土里ネット中村堰 田口 浩

令和6年10月16日(水)、藤岡市立鬼石北小学校4年生10人が校外学習の一環として、中村堰土地改良区が管理する施設の見学に来てくれました。



あれは中村堰
頭首工の土砂
吐ゲートです



土砂吐ゲートには取水位調節・取水位確保・排砂・洪水流下等の機能があることを説明しました。



鮎川サイホンは、鮎川の下をくぐって水を運んでいます。一番初めは江戸時代にお坊さんが中心となって造りました。今、皆さんが見ているのは、その後大改修を繰り返し、約90年前に造られたものです。

熱心に学習していただきました。

おにし 「鬼石」地名の由来

昔、御荷鉾山（みかぼやま）の山頂に鬼がおり、人に危害を加えていました。弘法大師によって成敗された鬼は逃げようとして石を投げ、その石が落ちた土地を「鬼石」と呼ぶようになったといわれています。 藤岡市役所HPより